

## コナナガシクイ

分類 鞘翅目ナガシクイムシ科

学名 *Rhizopertha dominica*

英名 Lesser grain borer



### ■解説

本種は、良く発達した大顎を持ち、米、麦を破壊的に加害するが、加工食品での被害は少ない。穀粒間に産卵された卵から孵化した幼虫は、成長に伴い穀粒の内部に潜入する。越冬は、成虫、幼虫の両ステージで行われるが、木材中に穿孔して越冬する習性のある成虫では越冬効率が幼虫よりも良い場合がある。また、本種の増殖による発熱で穀温が上昇した場合は、冬期においても繁殖を継続することがある。

### ■体長

卵 :  $0.52 \pm 0.02 \times 0.20 \pm 0.01 \text{mm}^1$

幼虫 : 3~4mm (終齢)<sup>2)</sup>

蛹 : 3mm 前後<sup>2)</sup>

成虫 : 3mm 前後<sup>2)</sup>

2~3 mm 前後<sup>3)</sup>

### ■産卵数

産卵数/生涯 :

平均 244 卵 (25°C)<sup>3)</sup>

平均 418 卵 (34°C)<sup>3)</sup>

### ■発育零点 (発育停止温度)

約 16.5°C (含水量 14%小麦 70%R.H.)<sup>5)</sup>

### ■ライフサイクル

(温度 26°C、湿度 65%飼育条件下)

卵	幼虫				蛹	卵~成虫 平均日数
	1 齢期間	2 齢期間	3 齢期間	4 齢期間		
12~18 日	8~47 日	4~29 日	10 日	10 日	平均 6.5 日	平均 58 日

(小麦、34°C、70%RH)

卵	幼虫	蛹	卵~成虫 平均日数
4~10 日	約 17 日	約 13 日	—

### 【参考文献】

- 1) G.L.Lecato et al. : J.Kansas.Entomol.Soc., 47(3), 308 (1974)
- 2) 原田豊秋 : 食糧害虫の生態と防除, p. 526, 光琳 (1984)
- 3) C.P.Haines et al. : Insects and Arachnids of Tropical Stored Products Their Biology and Identification (A Training Manual), p. 273, Storage Department Tropical

Development and Research Institute, UK.

- 4) 原田豊秋：食糧・食品害虫図説， p . 45， 食品資材研究会（1979）、5) 三井英三：農林水産技術会議， 研究成果 126（1982）
- 5) 三井英三：農林水産技術会議， 研究成果 126（1982）